

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本たばこ産業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
----	----------------------------	----	--

本票作成	部署名：岡山印刷工場 技術担当
------	-----------------

主たる業種	分類コード	15	業種名：印刷・同関連業
-------	-------	----	-------------

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 岡山印刷工場：たばこ材料品の製造 (従業員数 132名、保有車両 1台) 岡山支店・各営業部：たばこ卸業 (従業員数 69名、保有車両 40台)
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山印刷工場	岡山市北区御津高津120-12
	②	岡山支店	岡山市北区大供3-1-21
	③	倉敷営業部	倉敷市老松町3-3-1 NTT倉敷支店ビル1F
	④	津山営業部	津山市田町111

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 27 年度)
	6,528 t CO ₂	3,958 t CO ₂	199 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	岡山印刷工場	3,660 t CO ₂
	②	岡山支店	183 t CO ₂
	③	倉敷営業部	73 t CO ₂
	④	津山営業部	41 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 25 年度 ～ 平成 27 年度 (3 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	39.4 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

<p>・温室効果ガス排出量は工場閉鎖を控えて大幅な製造数量の減少のため平成24年度より 2570ト(39%)減少し、目標削減率(1%/年)をクリアしている。この中に電力会社の排出係数見直しも含まれているので排出係数見直しを除外すると42%以上となり大き削減であると考えている。このため第2種指定工場の原油換算1500kℓを割り込む結果となった。</p>
--

【推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> 岡山印刷工場 : 省エネ・省資源部会 (1回/月開催) 平成11年7月 ISO14001認証取得 岡山支店・各営業部 : 環境管理委員会 (1回/四半期開催) 平成16年4月 ISO14001に準拠したグリーンシステム運用開始
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容																																																
(平成26年度実施分) ・ 全事業所 ・ 岡山印刷工場 ・ 岡山支店・各営業部 (今後実施予定分) ・ 岡山印刷工場 ・ 岡山支店・各営業部	<table border="0"> <tr> <td>(平成26年度実施分)</td> <td>平成24年度比</td> <td>計画書削減目標</td> </tr> <tr> <td>・ 中国電力(株)のCO2排出係数見直し</td> <td>232 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンプレッサ運転の効率化</td> <td>▲ 18 t CO2/年</td> <td>▲ 38 t CO2/年</td> </tr> <tr> <td>・ 機械の集約化を行い一部作業場の空調機停止</td> <td>▲275 t CO2/年</td> <td>▲ 3 t CO2/年</td> </tr> <tr> <td>・ 空調用冷凍機運転台数の見直し</td> <td>▲206 t CO2/年</td> <td>▲ 24 t CO2/年</td> </tr> <tr> <td>・ VOC処理設備の運転時間延長</td> <td>51 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 不使用エリアの消灯と照明の間引き点灯</td> <td>▲ 92 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ その他省エネルギー対策</td> <td>▲ 15 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 製品仕様の変更(印刷巾・無開孔製品増加)</td> <td>▲ 93 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 作業環境確保のための排気風量UP</td> <td>17 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 事業環境の変化(製造量減少)</td> <td>▲2,152 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 各種省エネルギー対策の実施 (アイドリングストップの徹底、エコ運転・空調温度の適正管理 照明間引き、エレベーター1台停止、電気温水器停止等)</td> <td>▲ 2 t CO2/年</td> <td>▲3 t CO2/年</td> </tr> <tr> <td>・ H26年度末で営業部の廃止のため事業量減少</td> <td>▲17 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>▲2,570 t CO2/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(今後実施予定分)</td> <td>(今後実施予定分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成26年度末を持って岡山印刷工場・各営業部は廃止 (平成27年度以降は原油換算1500KL未満)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(平成26年度実施分)	平成24年度比	計画書削減目標	・ 中国電力(株)のCO2排出係数見直し	232 t CO2/年		・ コンプレッサ運転の効率化	▲ 18 t CO2/年	▲ 38 t CO2/年	・ 機械の集約化を行い一部作業場の空調機停止	▲275 t CO2/年	▲ 3 t CO2/年	・ 空調用冷凍機運転台数の見直し	▲206 t CO2/年	▲ 24 t CO2/年	・ VOC処理設備の運転時間延長	51 t CO2/年		・ 不使用エリアの消灯と照明の間引き点灯	▲ 92 t CO2/年		・ その他省エネルギー対策	▲ 15 t CO2/年		・ 製品仕様の変更(印刷巾・無開孔製品増加)	▲ 93 t CO2/年		・ 作業環境確保のための排気風量UP	17 t CO2/年		・ 事業環境の変化(製造量減少)	▲2,152 t CO2/年		・ 各種省エネルギー対策の実施 (アイドリングストップの徹底、エコ運転・空調温度の適正管理 照明間引き、エレベーター1台停止、電気温水器停止等)	▲ 2 t CO2/年	▲3 t CO2/年	・ H26年度末で営業部の廃止のため事業量減少	▲17 t CO2/年		計	▲2,570 t CO2/年		(今後実施予定分)	(今後実施予定分)		平成26年度末を持って岡山印刷工場・各営業部は廃止 (平成27年度以降は原油換算1500KL未満)		
(平成26年度実施分)	平成24年度比	計画書削減目標																																															
・ 中国電力(株)のCO2排出係数見直し	232 t CO2/年																																																
・ コンプレッサ運転の効率化	▲ 18 t CO2/年	▲ 38 t CO2/年																																															
・ 機械の集約化を行い一部作業場の空調機停止	▲275 t CO2/年	▲ 3 t CO2/年																																															
・ 空調用冷凍機運転台数の見直し	▲206 t CO2/年	▲ 24 t CO2/年																																															
・ VOC処理設備の運転時間延長	51 t CO2/年																																																
・ 不使用エリアの消灯と照明の間引き点灯	▲ 92 t CO2/年																																																
・ その他省エネルギー対策	▲ 15 t CO2/年																																																
・ 製品仕様の変更(印刷巾・無開孔製品増加)	▲ 93 t CO2/年																																																
・ 作業環境確保のための排気風量UP	17 t CO2/年																																																
・ 事業環境の変化(製造量減少)	▲2,152 t CO2/年																																																
・ 各種省エネルギー対策の実施 (アイドリングストップの徹底、エコ運転・空調温度の適正管理 照明間引き、エレベーター1台停止、電気温水器停止等)	▲ 2 t CO2/年	▲3 t CO2/年																																															
・ H26年度末で営業部の廃止のため事業量減少	▲17 t CO2/年																																																
計	▲2,570 t CO2/年																																																
(今後実施予定分)	(今後実施予定分)																																																
平成26年度末を持って岡山印刷工場・各営業部は廃止 (平成27年度以降は原油換算1500KL未満)																																																	

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	・ 平成19年度～「JTの森 智頭」での植林活動等 (鳥取県八頭郡智頭町、約23ヘクタール)

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--